



第 21 号  
2025 年  
8 月 3 日

## 北関東教区・東京教区

### 「新教区設立MEETING」報告

7月19日東京教区聖アナンデシ主教座聖堂において、両教区の信徒・教役者約100名が集い、「新教区設立MEETING」が宣教協働特別委員会主催で行われました。本年秋の定期教区会において、それぞれの教区で新教区設立の可否についての議案が審議されようとしています。今回は、8つの小委員会、特に新教区設立の「実務チーム」に位置付けられている、宣教、教務、財政、給与検討の各小委員会からの報告・説明を中心とし、全体会で質問やご意見を受ける形で行われました。9月15日に予定されている第2回「新教区設立MEETING」で質問やご意見への回答をいたします。

冒頭の挨拶で高橋宏幸主教は、次のように語られました。主体性や自立性を持った各教会・礼拝堂関連諸施設の働きを支えていくのが教区の役目であること。教区を主語とせず、教会・礼拝堂などの「現場」があつてこそその教区であること。いきいきとした教会の活動のために両教区の信徒・教役者が出会い協働していく契機として新教区設立の取り

組みがあること。それが神の働きに参与していく教会のミッションである、と力強く語られました。

各小委員会からの報告について、「実務チーム」からの報告をご紹介します。

宣教小委員会からは、新教区の宣教体制（組織図）案の概略が紹介されました。教会・礼拝堂、関連施設の働きに参与していくために「宣教センター」を設置する案、また、宣教の協働者である若者の活動にスポットライトを当てて注力していくために「青少年ベース」を設置する案などが提示されました。

教務小委員会からは、新教区設立に至るスケジュール案、日本聖公会法規上の手続き、法人合併に関する国法上の手続きが紹介され、「日本聖公会 北関東・東京教区」という新教区の名称案、主たる教区事務所を現東京教区事務所とし、大宮の教務所は従たる拠点として必要な機能を持たせていく案が提示されました。また新教区設立後に臨時教区会を開催し、教区主教、常置委員、日本聖公会総会代議員を選挙する予定であることなどが説明されました。

財政小委員会からは、信徒・教役者数の推移など数字で見る両教区の現状、財政体制についての違いなどが紹介されました。また新教区の分担金制度、教役者の給与支給方法、各教会と教区の財政的関係の基本的考え方が説明され、将来を見据えた収益事業採用についての提案がなされました。

給与検討小委員会からは、両教区の教役者給与の差異について検討している事柄と今後の見通し、また各種手当などの規則整備状況などについて説明されました。

今回の内容については、録画映像の配信や、配布資料のダウンロード形式で公開されます。また質問や意見を寄せていただくため、Web上での窓口が案内されました。どちらも、発布されたチラシ記載のリンク、または左記のQRコードからご覧いただけます。（広報小委員会）



動画



資料



質問・ご意見窓口

新教区設立のワクワク感を教会の人に伝えたい。

課題を共に分かち合いながら新しい教区の誕生が楽しみ。

(新教区設立後に) やりながら考えるというスタイルは不安定にも感じられますが、それしかできない場合もあると理解したいです。

(今後の新教区設立MEETINGには) 1人でも多くの信徒が自分事として参加されることを願う。

# 7月19日 「新教区設立MEETING」 参加者の声

新教区設立は「新しいチャレンジ、新しい聖霊降臨のチャンス」という意見に同意。

次回はもう少し具体的な説明を。

教会間で情報格差があると感じました。

携わっていないプロジェクトの途中経過報告であり、引き続き頑張ってくださいとしか言いようがない。

青少年ベースの活動に期待。

たくさんのお声をお寄せいただき、ありがとうございました！



『きょうどう通信』第21号

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有します。投稿はすべてを掲載できませんが、ご了承ください。「秋」をテーマにした俳句・川柳もお待ちしております。俳号・匿名どちらでも可です。kouhou.k.t@gmail.com

世界地図 平和なニュースで おぼえたい  
ひとりが 割って終了 スイカ割り

教区名 知恵を絞って ひねり出す  
教区超え 会えて嬉しい MEETING

主教巡杖 アプタン忌 風薫る

きょうどう俳句・川柳  
「毛呂山」  
北村すなほ

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会